

出題分析			
試験時間	60分	配点	60点
		大問数	4題
分量 (昨年比較)	[減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化]
【概評】 大問Ⅰ～Ⅲがマーク式で36問、大問Ⅳが記述式で13問の空欄補充問題と論述問題という構成は例年通りであったが、論述の字数が微増して120字となった。また、年代並び替えの問題は3年ぶりの出題となった。時代・地域では西アジア・南アジアが少ないものの、あまり偏りは見られなかった。難易度は、易化した昨年からやや揺り戻しがあったと言える。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	文字・印刷の歴史	問B, やや細かいが、王朝の言語であるギリシア文字、民衆向けの民用文字、エジプト王朝としての格式付けとなる神聖文字が刻まれていると類推しても解くことができるか。問J, 東部がルートヴィヒ2世, 西部がシャルル2世, 中部がロタール1世の領土となった。前二者はメルセン条約も締結している。問L, いずれも1450年以後の出来事なので、最も早いものとなる。この中ではサファヴィー朝の成立とヴァスコ＝ダ＝ガマによるカリカット到達で悩むだろうか。	やや易
II	唐の崩壊と宋の成立	問A, やや難。隋や唐の帝室は六鎮のひとつ武川鎮の出身とされる。侯景の乱は南朝の梁で東魏からの降将が起こした反乱で、梁を実質的に崩壊させた。問F, 楊炎は教科書等での掲載は少ないが、入試では一定程度出題される。問H・I, 五代の王朝の順番は覚えておこう。五代のうち後唐以外は汴州(開封)を首都としたことも覚えていたい。問J, 燕州は北京, 雲州は大同と覚えていないと厳しい。問K, 宋(北宋・南宋)と北方諸民族との和議としては、キタイとの澶淵の盟, 西夏との慶暦の和約, 金との紹興の和約がある。その性質の違いもおさえておこう。問L, 黄宗義・顧炎武・銭大昕は代表作で区別出来るようにしたい。	標準

設問別講評			
III	欧米列強の帝国主義	問B, やや難。3は判断に困るので, 細かい事項だが4が誤りと断定したい。1のクランプも細かい。問C, 主語を欠く選択肢が多くわかりにくい。問D, 難問。ヴィルヘルム2世は黄禍論を唱え, ロシアの目を極東に向けさせようとした。これは三国干渉とも関係している。問E, やや細かい。団結禁止法廃止の1824年がわかれば判定できるだろう。問Hもやや細かい。ベトナム光復会はファン＝ボイ＝チャウが辛亥革命の影響を受けて1912年に結成した。問I, 2はモロッコ事件の時期, 4は南アフリカ連邦成立の後とあたりをつけたうえで, アドワの戦いの年代を推測するとよいだろう。問J, バンテン王国はジャワ島西側のスンダ海峡の交易路を掌握して繁栄したと知っておくとよい。問L, やや難しい。商人の扶助組織から発展したサレカット＝イスラムと混同しないようにしたい。ヒラーファト(運動)は英領インドのムスリムが行ったカリフ制擁護の反英運動。ガンディーの指導する国民会議派による運動も同時期に盛り上がっており, 両者が協力した。	やや難
IV	アメリカ合衆国の人種差別	1, 難問。独立宣言ではジョージ3世の暴政が非難されている。4, 難問。2024年にも商学部で出題されたので, 覚えていた人は有利ただだろう。5, やや難しい。アメリカ大統領選挙は4の倍数の年に行われることと, ジェファソンの大統領任期やルイジアナ買収の1803年といった年代から推測したい。6・7, 入れにくい空欄でとまどってしまうかもしれない。なお, 合衆国憲法の修正では, 旧来の条文は残し, 修正条項が追加される形を取る。9, ジム＝クロウ法は商学部受験者であれば覚えておきたいところ。11～13は時事問題。11はともかく, 12・13は読解的にも解けるだろう。14の論述は標準的な難易度。	やや難

合格のための学習法

選択問題の中には判別しづらい問題が散見されるので、一見難しく思えるが、全体的にみれば確実に解ける問題も多い。難易度の高い問題に拘泥することなく、標準レベルの問題を確実に正解できるようにもっていきたい。普段の学習ではなるべく多くの演習問題をこなし、応用力をつけることを心がけたい。現代史・社会経済史に関わる問題も多いので、日ごろから世界のニュースについて関心を持っておくことが大切である。